

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。先日開催されたフィギュア全日本

選手権で出場した島田麻央さん14歳。今季最高得点。4回転トゥループ、トリプルアクセル3回転半2本を取り組んだ高難度構成、歴代のレジェンドより若い偉業、秘めてる無限の可能性に期待が高まります。若い世代の活躍に胸が弾みました。寒さ厳しい折から、お風邪などお召しませんようお気を付けてください。

## サンライズの物語

### 医療、介護の連携——

### 残されたご家族様に寄り添う物語



その方は、自宅で1週間前まで元気で自転車で買い物へ行ったりしていた方でした。

自宅で転倒をして緊急搬送された病院で肝がん末期と診断され自宅へ戻ったのでした。

余りの急変にご家族様の戸惑いは図り知れず、ベッド上で「助けて」を繰り返すお母様に対し娘さんが「大丈夫だから。心配いらないよ」と何度も声を掛けていたのでした。

訪問診療、訪問看護等の連携が素晴らしく連日訪問して手当をしていましたが、1週間余りで永遠の眠りについてしまいました。

在宅での医療、介護の連携とご家族の協力。自宅で看取る辛さ悲しさをチーム全員が支えていたのです。

一番安心した空間でもある、自宅で息を引き取ることは、何時も聞いている生活音、匂い、家族の話声・・・

誰もが迎える最後の時を忘れていると思います。自分自身が最後をどう迎えるかを考えておかねばならないと感じます。

# サンライズのデイサービス陽光だより



## 誕生日

誕生日カードを差し上げ、おやつでケーキを出しました。皆さん「ありがとう」「ケーキ美味しい」と言って喜んで召し上がられていました。

## 1月カレンダー工作

各自、折り紙で羽子板を作り貼り付けてカレンダー工作をしました。



## NEWS 今月のニュース

### 認知症患者、コーヒー提供 水戸のNPO 介護事業所で活動

認知症患者やその家族でつくる水戸市のNPO法人「ともに歩む認知症の会・茨城」が22日、同市緑町の看護小規模多機能型居宅介護事業所「絆」で、利用者向けにコーヒーを入れるボランティアを行った。香り高い、温かなコーヒーのサービスに施設には笑顔の輪が広がった。

ボランティア活動は、施設の利用者にリラックスしてもらう時間を過ごしてもらうとともに、若年性認知症患者の活動の場を設けるのが目的。昨年12月に続き2回目となる。

今回は同施設のクリスマス会の一環

として実施。会員はコーヒーの入れ方の講習を受け、自宅で練習して本番に臨んだ。

会員は、利用者11人にハンドドリップのコーヒーを入れたり、入れたての紅茶を提供したりし、「お代わり、ありますからね」や「いかがですか」など優しく声をかけていた。

利用者で同市の佐藤麻子さん(43)は「おいしかった。香りがよく、ゆっくりコーヒーをいただくことができた」と喜んでいた。

同法人に所属する若年性認知症(レビー小体型認知症)の平みきさん(64)は「(利用者が)いい表情をしてくれるのでうれしい。こうした活動

は刺激になる」と笑顔を見せた。

同法人代表の渋谷史子さん(52)は「活動の機会を設けることは、認知症の人や介護している家族の社会参加につながる。今後も続けていきたい」と話している。



香り豊かなコーヒーを入れるNPO法人「ともに歩む認知症の会・茨城」会員たち=水戸市緑町

<神戸新聞 2022/11/20(日)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>